

和泉中央南
ハイツ自治会

黄色旗で安否を発信

有事の支え合い強化にひと工夫



安否確認旗を掲げる役員たち

和泉中央南ハイツ自治会（旧和泉町団地自治会）は5月に実施した防災訓練で「安否確認旗」を使った取り組みを始めた。高齢者・要援護者へのサポートを迅速かつ正確に行い、適切な避難につなげるのが狙い。

同ハイツは1974年一在184世帯が暮らして完成。9棟の建物に現一自治会では、近年

各地で発生している自然災害などを教訓として、自主防災組織の強化や防災備蓄品の充実に努めてきたが、居住者の高齢化が進む中、災害発生時の避難を最優先に考えると、一番の課題は隣近所の見

える化にあった。

最初に進めたのは役所と連携し、有事に支援が必要な支援者の確認。この上で、全居住者の効率的な安否確認方法を模索結果、安否確認旗の活用が持ち上がった。

使用方法は、有事の際に建物入口側から見えない窓に旗を掲げるだけ。これにより、委員らが階を上り下りして状況を確認する必要がなくなった訓練では避難時間の短縮にもつながったという。

自治会役員らによれば、普段から継続してコミュニケーションをとることを各棟の委員が共有。その成果もあり、初の取り組みとなった確認旗も、割以上の活用が見られた。佐藤茂会長は旗利用の継続と定着、要支援者のサポート強化、残り1割への協力要請を課題に挙げ、「防災への関心を高めることが対応力の強化につながる」と力を込めた。

愛護功労者を表彰行脚

区長が各団体訪問

泉区役所では区内で活動する公園愛護会やハマロードサポーター、水辺愛護会で長年活動した人を毎年表彰している。

例年では表彰式を開いているものの、今年は密集を避けるため深川敦子泉区長自らが今回対象となった17団体の活動場所



和泉町第三公園を訪れた深川区長（前列左）

を直接訪問。感謝状を手渡した。深川区長は「現場で手渡す機会は初めて。活動している状況を見ることができて良かった」と印象を話した。

対象者は以下の通り（順不同・敬称略）。

◇公園愛護会
高井澄（中田町第五公園愛護会）、元山健（上飯田けやき公園愛護会）、矢島八重子（中田町第八公園愛護会）、添田新治（緑園東田谷公園愛護会）、市川勇男（岡津宮ノ谷公園愛護会）、館野

規子（中田西一丁目公園愛護会）、柴田清（富士塚公園愛護会）、朝倉昭男（和泉アカシア公園愛護会）、木村大六（岡津竹ノ鼻公園愛護会）、佐藤京子（和泉町第三公園愛護会）

◇水辺愛護会

引地利明（富士見水辺愛護会）、横山和夫（憩いのまほろば水辺愛護会）、町田稜子（和泉川中央水辺愛護会）、高橋巖（花友水辺愛護会）、熊坂喜久次（もぐり橋水辺愛護会）

◇ハマロードサポーター

福田正志（緑園一丁目グリーン&グリーン・アクション）、小菅賢三（本郷町内会）

泉区連合自治会町内会長会

- 泉区連合自治会町内会長会
- 和泉中央南ハイツ自治会
- 和泉中央北ハイツ自治会
- 和泉中央東ハイツ自治会
- 和泉中央西ハイツ自治会
- 和泉中央南ハイツ自治会
- 和泉中央北ハイツ自治会
- 和泉中央東ハイツ自治会
- 和泉中央西ハイツ自治会

文字のサイズ
小 中 大

このページの訪問者数
累計：003191
今日：000003
昨日：000004

●南ハイツ自治会の特色
～和泉中央南ハイツ自治会～
令和元年5月12日の管理組合総会に於いて、和泉町団地から「和泉中央南ハイツ」に名称を変更しました。
名称変更からまる2年。すっかり定着しネット検索でも即出るようになりました。
当南ハイツ自治会は184世帯から構成され、会員は157世帯です。小さい故に各執行事も仲良く、他世代交流が盛んに行われています。
管理組合とは車の両輪のごとく、防災備蓄隊は管理組合で予算化し、備品についても管理組合で購入しています。管理その他運用は自治会でを行っています。

令和3年5月12日

自治会だより
* 5月2日第三公園が寄贈になりました。 (2021.05/02)
* 令和3年5月号(里山報告) (2021.05/02)
* 4月11日第46回自治会定期総会が行われました。 (2021/04/04)
* 令和3年4月号 (2021/04/01)
* 令和3年3月23日 公園愛護会功労者表彰 (2021.03/25)
* 令和3年3月号 (2021.03/10)
* 令和3年2月号 (2021.02/28)
* 令和3年1月号 (2021/01/04)
* 第三公園が寄贈になりました。 (2020/07/04)
* 町のほらっぱが寄贈になりました。 (2020/06/08)

●お知らせ

アクセス数が3000を超えた和泉中央南ハイツ自治会

中でも和泉中央南ハイツ自治会のページは累計アクセス数が3000を突破。一日に100アクセスがある日もあるという。同自治会の佐藤茂会長は「区役所の人に言われて気が付いた。まめに更新しているのだから見てくれている人も多いのでは」と心境を話した。

泉区連合自治会町内会長会のウェブサイト (http://www.townnews.co.jp) で、各自治会町

泉区連HP
訪問数をカウント
3000超の「バズリ」も

内会のトップページにアクセスカウンターを設置した。

いくつかの自治会町内会からの要望を受けての実装。今年3月20日時点からの累計と、当日・前日の訪問者数をサイト左側に掲示している。

人物風土記

○：今年5月の小紙で「3000超のバズリ」と紹介してから早3カ月。自治会長として更新を担当する和泉中央南ハイツ自治会のホームページアクセス数が、計測を開始した3月末からの累計で1万3000を突破した。同じ泉区連合自治会町内会長のサイト内でまめに更新している他自治会の閲覧数が4000～5000の中、異例ともいえるアクセス数に「度肝を抜かれた思い」と喜びを隠せない。

○：アフリカの未電化地域解消に取り組む自慢の長男が、パソコンの使

い方のイロハを教えてください。サイト内の文章更新や写真の公開、チラシの配布にスマホの使い方などを教える立場。毎晩30分。「いつも『今晚は何を更新しようか』と考える」

○：伊豆の出身。小学校1年で三ツ沢に転居。結婚後はいちよう団地に10年住んだのち、まだの案内から役員会の議事録、掃除の報告までその内容は多彩だ。土木事務所への陳情報告など、飾らない言葉で書かれた文章が味わい深い。

校1年で三ツ沢に転居。結婚後はいちよう団地に10年住んだのち、まだの案内から役員会の議事録、掃除の報告までその内容は多彩だ。土木事務所への陳情報告など、飾らない言葉で書かれた文章が味わい深い。

晩酌代わりにサイト更新



●区内では異例の1万3000アクセスを誇る自治会ホームページを管理する

佐藤 茂さん

和泉中央南在住 74歳

○：今後取り組みたいと思っているのが、支援が必要な一人暮らしの住民のリスト化。完成から半世紀近くを迎え、団地の住民も高齢化が進んできた。「一人ひとりにちゃんと支援してくれる人を決めて、買い物支援などができるようにしたい」とまだまだ休み知らずだ。

あつとほーむ

デスク

「探すと記事は毎日あるものです」。人物風土記で紹介した佐藤会長が、毎日更新中の自治会ホームページにこう書いておりました。うう…耳が痛い。私も精進します。さて会長の奥様、京子さんは自治会内でさわやかスポーツ普及委員を担当。海外にあるような公共スペースの卓球台設置を、泉区でも実現出来ないか区に提案中だそうです。商店街の「スリッパ卓球」なんてのもありましたし、街中に卓球台、面白いかも。(K)

和泉中央南
ハイツ自治会

情報伝達にHP積極活用

およそ1年で訪問5万超

役員メンバー(上)、案内などには必ず二次元コードを掲載



区連会ホームページでは、2011年度から連合、単位町会ごとにページ作成が可能となっており、現在12連合と41自治会町内会が個別ページを運営している。

日現在、1万超は和泉中央南ハイツ5万1500、中田連合自治会1万3000、新橋下自治会1万1800の3つ。そのほかは5千から1千前後などとなっている。

和泉中央南ハイツでは、佐藤会長が一人で更新作業を担当。ほぼ毎日、多いときは一日2、3回の作業を行う。



和泉中央南ハイツ自治会(156世帯/佐藤茂会長)が、コロナの影響で交流の減る中、泉区連合自治会町内会長会ホームページを活用した情報発信に力を入れている。昨年3月のアクセスカウンター設置以降、5月19日には訪問者数が5万を突破。「活動の再確認、情報収集など使い方は様々。内外への発信になっている」と同会では話す。

は2014年の行事結果から掲載。コロナ禍で閲覧板を止めた際も、資料をスキャンして載せるなど自治会活動の伝達手段として活用している。

「秘訣はまめな更新。ちよつとした情報もあげている」と佐藤会長。らつきょうの作り方やかかと落とし体操といったテレビなどで得た情報もアップし、閲覧者の飽きが来ないように工夫す

る。住民らは「話題が豊富。今日は何がとファンもいるかもしれない」とし、「会議で聞いた情報の再確認に役立つている」などの声もあった。

佐藤会長は「次世代につなぐためにもホームページの活用が広がれば」と期待を込めた。

和泉中央南 ハイツ自治会

HP閲覧数が10万回突破

「まめな更新積み重ね」

インターネットでの情報発信に力を入れている
和泉中央南ハイツ自治会
(156世帯/佐藤茂会



喜びの表情を見せる佐藤会長（中央）と役員メンバー

長)のホームページの閲覧数が1月13日、10万回を突破した。

「毎朝ホームページを見るのが日課。今日何が起きるかすぐわかるので便利」と同自治会役員らが話すように、コロナ禍で対面の交流が減少する中で住民の重要な情報源となっているという。

工夫を凝らし

飽きさせず

同自治会のホームページにはその日にあった出来事や、自治会の報告書

のほか「今日の格言」など多くのトピックスが並んでいる。昨年5月に閲覧数5万回を突破して以降はさらに便利なページとすべく、自治会の行事の予定表なども追加して掲載内容を充実させていったという。

ホームページ更新のほとんどは佐藤会長が手がけている。「1日に3〜4回、更新はまめに続けている。訪問者に飽きさせないように工夫しているのが重要だと思う」と佐藤会長は話す。

今後も訪問者数を伸ばしていきたいながら、ホームページの更新・管理ができる後継者の育成にも力を入れていくという。